

MTT035-P01

会場:コンベンションホール

時間: 5月24日17:15-18:45

GISソフト「地図太郎PLUS」を使って伊能忠敬の歩いた道をたどる。

The road where Tadataka Inoh walked About 200 years ago was found by using GIS software "ChizuTaroPLUS".

猪原紘太¹, 近藤 賀誉^{1*}

Kota Inohara¹, yoshitaka kondo^{1*}

¹東京カートグラフィック株式会社

¹Tokyo Cartographic Co.,Ltd.



1.はじめに

約200年前の江戸時代後期に初めて日本の国土全体を測った伊能忠敬は、「伊能図」と呼ばれる地図を残した。伊能図は大図・中図・小図から成り、それぞれが統一された縮尺で当時の日本の姿を残す貴重な資料である。復元した実物大の伊能図を床展示する「完全復元伊能図全国巡回フロア展」も全国各地で開催され好評である。

この研究は現在の国土地理院1/25,000地形図を背景地図として、大図（縮尺1/36,000）に書かれている測線（実際に測量して歩いた海岸線と主要街道）をデータ化することにより、①明治以降埋め立てされた現在の海岸線との比較資料として、②旧街道を知ることによって歴史的景観の保存や全国まちおこし・村おこしの資料として、使われることを期待している。

2.伊能図測線の地形図への重ね合わせ

重ね合わせの作業にはコンパクトGISソフト「地図太郎PLUS」を用いた。「地図太郎PLUS」は今までのGISソフトに見られる多機能・複雑な操作イメージから機能を絞った簡易な操作で使えるGISソフトである。「地図太郎PLUS」にはいろいろな地図を重ねて見ることができる機能がある。ベクタ地図のほか、ラスタ（画像）地図の重ね合わせと位置合わせの機能を持っており、新旧の地図を重ねてみることができる。「地図太郎PLUS」のもつ画像の透過、拡大・縮小、回転、変形機能を駆使して重ね合わせを行った。伊能忠敬は導線法及び交会法を用いて測量・図化しているので、当時の測量誤差や紙の伸縮誤差を斟酌した上、「地図太郎PLUS」の画像位置合わせ機能を用いて地形図に合わせながらデータ化を行った。

地形図に重ね合わせてデータ化する項目は測線のほか伊能図に描かれている宿駅、天測地点、

湊、神社、寺院及び測量日記に記録されている宿泊地を検討している。

3.伊能図と地形図とを重ね合わせた結果

未だ研究の途上であるが、改めて伊能図の正確さを確認することができた。河川や図面間での接合部で大きくズレている箇所もあるが、現在の地形図と合わせてもはっきりと形状の確認や判読ができる精度であり、伊能図が200年前の日本を知る十分な資料となることを確信した。大部分の旧街道（多少形が変わっているところもあるが）が残っていること、明治以降多くの海岸線が埋め立てられていることを確認できた。（図参照）

4.地図の記録性

旧街道が今はダムの底に沈んだり、火力発電所が変わったり、ゴルフ場が変わったり、米軍基地の中にそのまま残っていたり、作業をつうじて「地図」が時代の変化を記録として残す重要なものであることを痛感した。伊能図が200年前の時代を知る重要なものであることは勿論であるが、今回の作業をつうじて伊能図と同様に地形図が後世に今を伝える大きな役目をもっていることがわかった。

キーワード: GIS,伊能忠敬,伊能図

Keywords: GIS, Tadataka Inoh, Old Map of Japan was made by Cartographer Tadataka Inoh